

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間： 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立南老人福祉センター	
(2) 施設の設置目的	
無料または低額な料金で、老人に関する各種の相談に応ずるとともに、老人に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与するため	
(3) 所管部局	
健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課	
(4) 指定管理者名	
社会福祉法人南の風	
(5) 指定期間	
令和3年4月1日から令和7年3月31日まで(4年間)	
(6) 主な事業	
・ 貸室業務 ・ 相談業務 ・ 指導業務 ・ 入浴サービス ・ 各種講座、教室等の開催(健康教養講座、機能訓練等) ・ レクリエーション活動の実施(敬老事業等)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
社会福祉・医療施設	無
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市内在住の60歳以上の高齢者	275,795人
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・地域に開かれた施設として全ての市民に認知されるよう、ブログなどでの活動紹介や、地域でのポスター掲示など広く広報を行い、どなたでも平等に利用できる施設運営を行った。 ・入浴前のこまめな健康相談や、事故・感染症マニュアルを常に更新するなど利用者の安全確保に努めた。 ・個人情報保護法を遵守し、職員全員に対し入職時に個人情報保護の誓約書を義務付けている。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・良質かつ安全・安心なサービスの提供や専門的なケアの提供を目的に有資格者を多く配置した。 ・職員のステップアップを図るため資格取得を奨励し、積極的にサポートすることで人材育成につながった。 ・施設を適切に維持管理するため、第三者業務委託を中心に、定期的な保守点検や必要な修繕を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	・貸室業務では、地域の多様なニーズに向き合うことで、様々なクラブ活動をサポートする事ができた。 ・入浴事業では、できるだけ多くの利用者が利用できるよう、感染対策などの安全管理に努めた。 ・コロナの感染分類が引き下げられた事もあり、今までに無い新たな取組を実施することで、より多くの利用者が参加できるよう努めた。
その他特筆すべき取組	・敬老会では、数年ぶりに利用者の作品展示とクラブ発表会を実施した。 ・フェニーチェ堺にて7センター合同の演芸交流会を実施した。

イ 市による状況分析

- ・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、利用制限の内容の見直し(緩和)を行ったが、見直し内容に沿った対応を丁寧に行い、混乱が生じることなく、事業を実施していた。
- ・施設の維持管理については、機器の不調などを関係機関に随時共有することで、利用者に大きな影響を与えることなく、対応することが出来ている。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	社会福祉法人南の風	社会福祉法人南の風	社会福祉法人南の風	社会福祉法人南の風	社会福祉法人南の風
利用者数(単位:人)	24,740	37,693	40,106	43,283	—
稼働率(単位:%)	ぼたんの間:38.0	ぼたんの間:45.3	ぼたんの間:72.4	ぼたんの間:77.6	—
利用者満足度(単位:%)	92.9	95.2	93.5	94.7	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	・ブログなどでセンターの活動を積極的に紹介することで利用促進を図った。 ・地域包括支援センターと連携することで介護予防や認知症予防など専門的な講座を開催する事ができた。 ・挽きたてコーヒーイベントやヨガ教室など、今までになかった新しい取組を積極的に実施した。
意見・苦情・要望等への対応	・年に1回の全体的なアンケートだけでなく、健康教養講座開催時にもアンケートを実施することで、利用者の要望に対しリアルタイムに対応することができた。
その他特筆すべき取組	・利用者の健康増進を図るため、看護師や管理栄養士といった専門職による講座を開催した。 ・大人の塗り絵教室の作品をコンクールに出展することで、利用者の意欲向上につながった。

ウ 市による状況分析

年に1回の全体的なアンケートだけではなく、講座開催に随時アンケートを行うことで、利用者の意向をキャッチし、利用者満足度が向上するような講座や取組を実施しており、利用者満足度は令和4年度と比較して上昇している。また、コロナ禍で落ち込んだ利用者数も着実に増加している。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
指定管理者名		社会福祉法人南の風	社会福祉法人南の風	社会福祉法人南の風	社会福祉法人南の風	社会福祉法人南の風
収入	指定管理料	42,473,146	41,454,335	44,420,000	44,420,000	44,420,000
	利用料金	0	0	0	0	0
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	808	47,628	1,602	1,111	5,000
合 計		42,473,954	41,501,963	44,421,602	44,421,111	44,425,000
支出	人件費	24,189,337	25,323,481	22,366,147	22,389,105	23,615,000
	委託料	3,785,051	3,510,270	3,518,150	4,143,186	1,000,000
	総支出額に占める委託料の割合	10.1%	8.9%	8.3%	9.6%	2.3%
	修繕費	297,733	826,302	634,782	387,614	1,300,000
	光熱水費	7,600,475	8,546,495	13,790,466	13,926,461	13,010,000
	その他	1,722,640	1,352,647	1,880,172	2,400,860	5,275,000
合 計		37,595,236	39,559,195	42,189,717	43,247,226	44,200,000
収支差額		4,878,718	1,942,768	2,231,885	1,173,885	225,000
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収 入		60,000	39,000	48,000	48,000	48,000
支 出		60,000	39,000	48,000	48,000	48,000
収支差額		0	0	0	0	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	・利用者の活動に影響しない場所では積極的に節電・節水を行い、定期的に事務用品の価格を見直すなど、経費を安く抑える工夫に取り組んだ。 ・地道な節約の積み重ねもあり、収支については、予算内で運営できている。
-------------	--

ウ 市による状況分析

・物価高騰の影響を受け、光熱水費や委託料が年々増加している。また、利用者数の増加を受けて光熱水費の使用料が増加したことも影響していると考えられる。 ・光熱水費の増加があったものの、指定管理料の範囲内で利用者満足度の高い運営が出来たことは、指定管理者の意識や地道な節約の成果であると思われる。
--

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
事故発生件数 (利用者の体調変化以外)	0件	0件

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
実利用者を増やし、定着させる取組 (令和6年度までに、60歳以上人口に占める実利用者数の割合を令和元年度比で2%(年0.5%)増加させる) ※R1:2.95%→R6:4.95%	4.45%	1.66%
高齢者の介護予防に資する取組 (介護予防に資する各種講座・教室等の開催回数)	月8回以上	12か月間達成

■収支

指標	目標	実績
経費削減に向けた取組	利用者サービスの増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を上げるように適正な予算執行を図られているか。	物価高騰により光熱水費が増加しているが、指定管理料の範囲内で、適正な運営を実施した。

イ 市による状況分析

- ・事故発生件数については、施設の維持管理を日頃から適切に実施した結果、0件となっている。
- ・利用者サービスの向上について、目標は未達となっているが、利用者の意向を反映した講座等を実施しており、実利用者は年々増加している。
- ・経費削減については、物価高騰の影響により光熱水費が増加しているが、限られた予算で効率的に運営していると考えられる。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	・コロナの感染分類が引き下げられた事により、今までにない新たな取組を積極的に実施することができたが、目標人数には届かなかった。 ・目標は一部未達成であるものの、利用者の多様なニーズに応えることで満足度の向上を図り、その結果、利用者数は3年連続で増加させることができている。	・目標達成は出来なかったが、コロナの5類移行による運用変更も大きな混乱が生じることなく実施し、新しい取組を実施したことで、実利用者数は増加している。 ・利用者の満足度は高く、施設の設置目的に合致した運営を行っている。
今後の取組	入浴事業が無くなることをマイナスに捉えるのではなく、より一層バラエティに富んだイベントに注力できる機会として捉え、利用者の生きがい支援や健康増進につながる施設運営を進める。	入浴事業の終了については、利用者数や満足度に大きく影響があるものと想定される。新規利用者の獲得や満足度向上のため、これまでよりも一層の魅力的な取組を期待する。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの